

地域の安全確保に向けた取組

寿栄川添自治協議会地域において、自治会や防災会等が中心となり、地域の危険箇所を把握するとともに、ブロック塀等*1の評価から撤去に向けて、講演会、戸別訪問を通じて、地域住民への意識啓発を行い、安心・安全なまちを目指しました。

Step1

地域の調査

Step2

情報の共有

Step3

地域住民の意識啓発

Step4

危険箇所の撤去に向けて

Step1

地域の安全点検

地域団体*2が、自分たちのまちの安全性を再認識するとともに、ブロック塀等をはじめとする危険箇所を把握するために、まち歩きを行い、ブロック塀等の危険箇所を発見した場合には、写真を撮影し、地図にプロットしました。

第1回ワークショップ

地域団体が中心となって、地域の安全点検で実施したブロック塀等の危険箇所の情報を共有するとともに、各地区の危険箇所を全員で共有し、危険箇所の対策を考えることで、地域の危険を「自分事」として認識してもらいました。



ブロック塀等の危険箇所の問題は、個人の問題ではなく、地域の問題として、地域で考えることが大切



継続した取組を地域が率先して実施することが大切



年末年始パトロール

寿栄川添自治協議会が実施する年末年始の防災パトロールに合わせて、ブロック塀等の所有者に対して、再度、普及啓発チラシを配布し、危険なブロック塀等の撤去に向けたアプローチを行いました。

Step2

第2回ワークショップ

地域団体が参加し、ブロック塀等の評価基準を設定し、地域内のブロック塀等の評価を行いました。この評価により、それぞれのブロック塀等の状況を把握しました。

それぞれのブロック塀等の優先順位をつけることが大切



Step4

戸別訪問

地域団体と連携してブロック塀等の所有者に対して、撤去を促すための戸別訪問を実施しました。戸別訪問では、作成したチラシを配布し、ブロック塀等に関する知識を習得してもらうとともに、自身でブロック塀等の状況をチェックし、危険性を把握してもらいました。また、同時に、補助制度の周知も行いました。

第3回ワークショップ

地域団体が参加し、今年度実施してきた、ブロック塀等の撤去に向けた取組において、問題点や課題を整理するとともに、次年度に活動する内容を検討しました。地域が自主的に実施するため、役割分担も検討しました。



撤去はすぐに進むものではないので、地域が中心となって、継続した取組を目指すことが大切



第3回ワークショップ終了後、寿栄川添自治協議会地域で実施した取組を参考に、「高槻市 ブロック塀等の安全確保に向けた手引き」を制作しました。



Step3

講演会

地域の防災力の強化と、安心・安全なまちづくりに向けた取組を紹介し、住民が自立した取組につなげるための講演会を実施しました。災害は経験しないと気が付かないことが多いことから、積極的に防災に関する経験や活動を持つこと、ブロック塀等の撤去を行うにあたっては、次世代に安心・安全なまちを残していく使命を持って取り組むことの重要性を学び、地域としての取組を始めるきっかけとなりました。



まずは、自治会や防災会が率先して、地域の安全や危険を把握することが大切



学ぶだけでなく、地域にどのように活かしていくのか考えることが大切



地域の取組から個人の取組へと波及させることが大切



ブロック塀等の所有者に対しては、所有しているブロック塀の状態を把握してもらうことが大切



*1 ブロック塀等は、危険なブロック塀等を表します。*2 地域団体は、寿栄川添自治協議会、寿栄川添地区防災会を表します。